

中央会事業より

～円滑な事業承継とは～ 経営者の皆さん！『事業承継』早めの準備と対策を！

本会では、9月4日(水)、同26日(木)、10月2日(水)の3回にわたって、事業承継懇談会を開催しました。

中小企業において経営者の高齢化等による後継者難が原因で、毎年、全国で10万社の中小企業が廃業しています。組合においても、組合員企業の減少に歯止めをかけるため、次世代への円滑な事業承継への支援が急務となっています。

本会では、中小企業の皆さんが事業承継に関する適切な知識の習得及び事業承継方法や進め方を理解することで、事業承継が円滑にできるよう、本懇談会を開催しました。

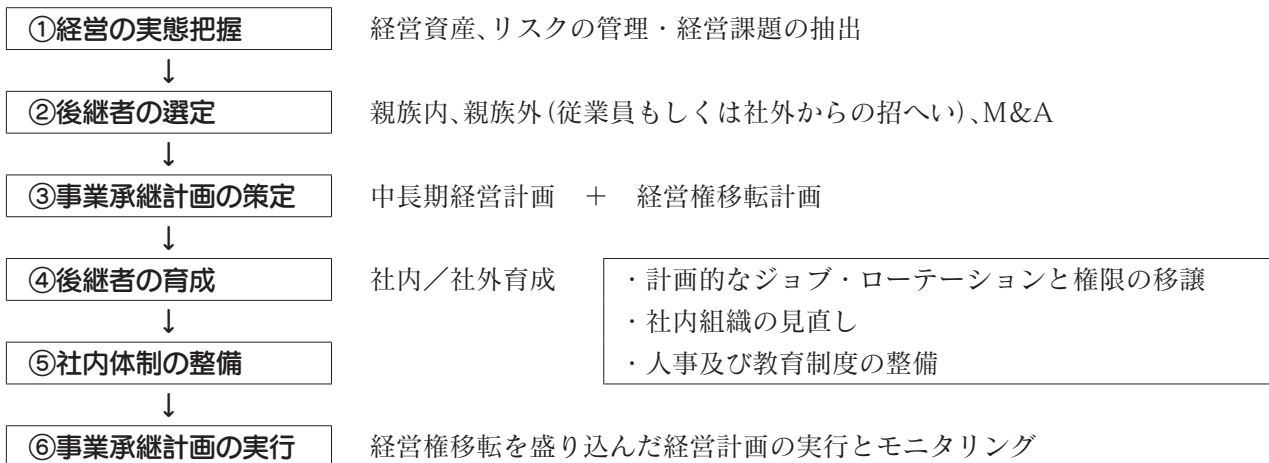
今回は、懇談会の内容から、事業承継事業用資産(土地・建物等)や経営権(株式)の分散を回避し、円滑な事業承継を進めるためのポイントをご紹介します。

<事業承継の4つのポイント>

- 1 後継者は親族だけとは限らない。
- 2 後継者の育成には5～10年の時間が必要である。
- 3 事業承継を従来の事業のあり方を見直す大きなチャンスと捉える。
- 4 「相続対策」は「相続税対策」ではない。

様々な支援策や会社法の関連制度を活用して、中長期的な経営計画を立てましょう

<円滑な事業承継の進め方>



まずは、

企業の現状を把握する

- ①企業の経営資源を把握する
→ 従業員、顧客など
- ②企業の経営リスクを把握する
→ 負債額、資金繰り状況など
- ③経営者自身の状況を整理する
→ 年齢、健康状態など
- ④後継者候補について検討する
→ 親族内(外)、能力、適性など
- ⑤相続発生時の問題点を検討する
→ 法定相続人の人間関係など

そして、

将来の見通しを立てる

- ①中長期的な経営計画を作成する
→ 経営ビジョン、数値目標、アクションプランを策定する
- ②事業承継の具体的な時期を検討する
→ 事業承継の実施予定スケジュールを経営計画に記載する
- ③様々な支援策や法律の規定を活用する
→ 中小企業経営承継円滑化法の活用
公正証書遺言の作成
定款の変更 など

高齢化が進む本県において、事業承継に取り組んでいる企業が少ないのが現状です。少しでも早めに事業承継に取り組み、会社の現状や会社を取り巻く状況の把握、さらには、中長期の経営計画を作成することが重要です。

組合活力向上事業を開催 ～秋田県ニット工業協同組合～

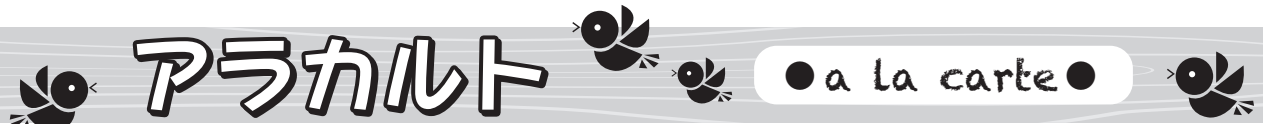
11月22日(金)、秋田市のアキタパークホテルにおいて、秋田県ニット工業協同組合(遠藤善雄理事長)の組合員を対象に、第2回組合活力向上事業が開催され、23名が参加しました。

今回は、菊地総合事務所代表の菊地修氏を講師に迎え、「生産性向上のための人材育成コーチング」をテーマに研修を行いました。

菊地氏は、従業員の意識を変えるためのコーチング手法について、質問・傾聴・承認・共感・プラスアルファのフィードバックが重要であると述べました。また、「コーチングは計画的・定期的・継続的に時間をかけて行うもので、その効果も時間をかけて現れる。生産性向上には、技術面の改善やスピードアップだけでなく、従業員の心のベクトルを合わせることも必要である。」と述べました。



【研修会の様子】



全国環整連第39回全国大会が開催される ～秋田県環境整備事業協同組合～

10月29日(火)、秋田市の秋田県民会館において、全国環境整備事業協同組合連合会(以下、全国環整連という。)の第39回全国大会が盛大に開催され、本会の塩田会長をはじめ、関係者等約900名が出席しました。

この全国大会は、秋田県環境整備事業協同組合(大塚勝栄理事長)が加盟する全国環整連が各都道府県持ち回りで毎年開催しており、今大会は「あんべいいなin秋田」をテーマに、本県で初めて開催されたものです。

式典で、玉川会長は「震災の経験から、避難所への浄化槽設置の必要性が高まった。我々は地域のために最善を尽くすべきである。」と挨拶し、その後、長年業界に貢献した優良従業員57人と優良役員5人を表彰しました。

引き続き、基調講演や「地方財政と浄化槽」をテーマとしたパネルディスカッションが行われた後、会場を移して、懇親会が盛大に開催されました。

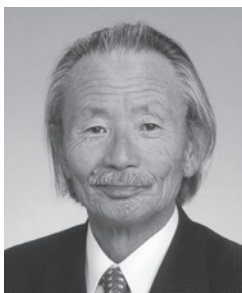
また、翌30日(水)には、今後の方針を発表し、大会宣言を採択した後、政府に対する要望を決議し、述べ2日間にわたる全国大会が終了しました。



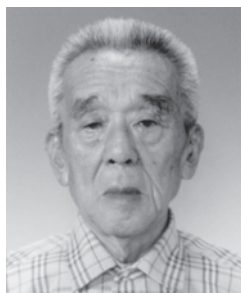
【全国環整連全国大会の様子】

2013年秋の叙勲・褒章 受章おめでとうございます

旭日双光章



(自動車販売事業振興功労)
秋田県中古自動車販売商工組合
元理事長 最上 育平氏



(消防、産業振興功労)
秋田県電気工事工業組合
元副理事長 田中十九也氏

黄綬褒章



(業務精励)
秋田県信用組合
理事長 北林 貞男氏

藍綬褒章



(労働・社会保険振興功績)
協同組合秋田県中小企業労務協会
専務理事 館岡 睦彦氏



(調停委員功績)
秋田県印刷工業組合
元副理事長 鶴田 徹二氏

支援団体活動レポート

北海道・東北地区地域商店街活性化事業連絡会議を開催 ～秋田県商店街振興組合連合会～

11月5日(火)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、「平成25年度北海道・東北地区地域商店街活性化事業連絡会議」が開催され、各道県の商店街振興組合連合会(以下、「道県振連」という。)の関係者等27名が出席しました。

この連絡会議は、7道県振連の持ち回りで開催されており、今年は秋田県商店街振興組合連合会(平澤孝夫理事長)が開催県として事務局を担当したものです。

会議では、中小企業庁の畠山商業課長より、平成26年度中小売商業関係施策等について説明がなされたほか、地域商店街活性化事業等について、各道県振連より取組事例の発表が行われました。

なお、地域商店街活性化事業の採択状況については、第3次募集で計1,533団体を採択しています。本県では22件が採択され各地でイベントが実施されております。なお、第4次公募は行われません。



【連絡会議の様子】

第2回日本語作文コンクールを開催 ～秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会～

11月16日(土)、秋田市のアキタパークホテルにおいて、秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会(佐賀善美会長)主催の「秋田県外国人技能実習生日本語作文発表コンクール」が開催され、当協議会会員となっている県内の縫製企業で技能実習に取り組んでいる中国人技能実習生から、日本人の礼儀正しさや四季の移り変わり、秋田の美しい自然など、日頃の生活で感じていることなどについて作文発表が行われました。

第2回目となる今回は、応募総数24点の中から一次選考を通過した10名が作文を発表しました。

その後、審査員として本会の高橋清悦専務理事やJITCO仙台駐在所の松浦所長等が審査を行った結果、「私の宝物」という作品を発表した李 盛兰(リースラン)さん(能代山本繊維協同組合)が最優秀賞を受賞しました。このほか、優秀賞1名、優良賞1名、奨励賞7名が決定し、それぞれに表彰状が手渡されました。

佐賀会長は、「日中友好の良い機会となった。今後も継続していきたい。」と述べていました。



【作文発表する技能実習生】

秋田県青年団体連絡協議会を設立 ～秋田県中小企業青年中央会～

11月14日(木)、秋田県庁「県政記者会見室」において、秋田県中小企業青年中央会(佐藤幸樹会長)をはじめ、秋田県商工会青年部連合会(佐藤慶太会長)、秋田県商工会議所青年部連合会(佐藤浩志会長)、秋田県JA青年部協議会(松岡秀樹委員長)、日本青年会議所秋田ブロック協議会(高橋司会長)の5つの青年団体による「秋田県青年団体連絡協議会」の設立締結書の調印式が行われ、東北で2番目となる青年団体の連携組織が誕生しました。

この協議会は、東日本大震災や豪雪を契機として、災害時の連携体制を構築し、地域社会と経済の活性化に向けた活動に取り組むことを目的に設立されたものです。今後は、災害時に被災者向けの支援物資提供や輸送などで5団体が協力するほか、行政との災害協定の締結も目指していく方針です。

なお、同日開催された設立総会では、秋田県商工会青年部連合会の佐藤慶太氏が初代会長に選任されています。



【調印を終えた佐藤幸樹会長(右から2番目)】

平成25年度商標等活用研修会を開催します【秋田県発明協会】

秋田県発明協会では、顧客の注目・関心を呼び、売上アップにつなげるネーミングの技術や、生み出した商品名を知的財産として商標登録する際の実務を学ぶ研修会を開催します。

是非、ご参加下さい。(受講無料)

- 日 時：平成25年12月5日(木)午後1時30分～午後4時30分
- 会 場：秋田県庁第二庁舎 5階 情報化研修室(秋田市山王三丁目1-1)
- 定 員：10名(先着順)

【お申し込み・お問い合わせ先】 秋田県発明協会 事務局 ☎018-824-4282

商店街活性化事業第3次募集の助成事業者を採択しました【中小企業庁】

中小企業庁が管轄する全国商店街振興組合連合会は、平成24年度補正地域商店街活性化事業の募集について、外部審査委員会での審査を踏まえ、231件の事業を採択しました。

本県からは以下の3件が採択されました。

1. 能代市畠町商店街振興組合 「ハートフル畠町、音と光のプロジェクト」
2. 協同組合大門街商店会 「大門街商店街 まちなか誘客事業」
3. 小坂町商業協同組合 「小坂町商業活性化にぎわいづくり事業」

【お問い合わせ先】 全国商店街振興組合連合会 商店街基金対策室 ☎03-3553-9300



組合ティールーム

秋田県再生資源商工組合

理事長 小野寺 盛さん

○業界の現状について

当組合は、県内の再生資源業者が業界動向の情報収集や調査研究により、業界の地位向上を図るため、昭和54年6月に設立しました。

当業界の活況の目安となる鉄くず価格は、横ばいで推移しており、鉄くずの発生量は少なくなっています。

しかし、10月あたりから、空き店舗等の建物解体件数が増加し、それに伴い、鉄くずの発生量も増えており、設備投資を行う企業が増えてきているのを実感しています。

○理事長としての抱負について

今の目標は、後継者をしっかり育成することです。組合員57社の中には、跡継ぎがいない企業や会議の場に積極的に参加しない若手経営者が多くなっています。

そこで、仲間意識を高め、後継者を育成するため、組合青年部の運営に協力しています。若手には、交流の場にもっと積極的に出て、いろんな人の考えを聞き、先代の事業を受け継いでもらいたいと思います。

○座右の銘について(普段心がけていること)

「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」という言葉を大切にしています。人はやれば何でもできますが、やらなければ何もできません。日常業務においても、今発生した問題を先送りしないようにして、すぐその場で解決するようにしており、私が経営する会社の社員にも、会議等によく話しています。

○趣味について

趣味はゴルフと登山です。ゴルフは、月に2回ほどプレーしています。登山は、若いころに夢中になっていたもので、一度やめていましたが、最近また始めたものです。人からは登山する理由をよく聞かれますが、特に理由はありません。強いて言えば、登ってみようという好奇心があることと、頂上に到着した際の達成感を味わうためです。

